

情報公開の徹底 北電に申し入れ

6/18 北電
県平和運動センター
志賀原発（石川県志賀町）で四月に放射性物質を含む冷却水が漏れた際、北陸電力の発表まで約二週間かかったことを受け、富山

情報公開の徹底 北電に申し入れ

6/18 北電
県平和運動センター

県平和運動センターは17日、4月に北陸電力志賀原発（石川県志賀町）で、微量の放射線物質を含む冷却水が漏れて作業員にかかった事案などについて、北電に情報公開の徹底を申し入れた。

山崎彰議長らメンバー5人が富山市牛島町の北電本店を訪れ、稗田光洋地域広報部エネルギー広報チーム課長代理らと面会。公表が事案発生か

ら20日以上たったと指摘し、発生後はただちに地元自治体に報告し、市民にも説明するよう求めた。原発廃止も訴えた。

県平和運動センターは十七日、富山市の北陸電力本店で申し入れ書を提出し、放射能に関する事故の情報公開や住民説明を徹底するよう求めた。

北電ではほかに、青森県六ヶ所村に輸送する低レベル放射性廃棄物の放射能測定でミスがありながら公表していなかったことも、五月に発覚している。

申し入れ書は、同社の対応を「原発の抱える本質的危険性を軽視するもの」と



要請書を提出する山崎彰議長
#17日、富山市の北陸電力で

批判。軽微な事故でも地元自治体に通報し、情報公開するよう要請した。

センターの山崎彰議長が、同社エネルギー広報チームの稗田光洋課長代理に提出。センターの脱原発署名運動で一年間に県内の七万六千人分が集まったことを報告し「原発から脱皮すべきではないか」と迫った。

- 23(月) 志賀原発原告団会談 (16:00 金沢)
- 26(休) 北電株主総会アピール行動 AM9:00 北電本店前

「ダメなものダメ」

市民団体代表ら 反対集会やデモ



「平和憲法を守れ」と訴えながらデモ行進する参加者たち—富山市新富町1丁目

6/20 朝日

集団的自衛権

安倍晋三首相が目指す集団的自衛権の行使容認に反対する元首長や弁護士、市民団体メンバーら約400人が19日夕、JR富山駅前で反対集会を開いた。続いて駅周辺をデモ行進し、「集団的自衛権行使は許さない」「平和憲法を守れ」などと呼び掛けた。

午後6時半から、C.i.Cビル（富山市新富町1丁目）前の広場であった集会では、呼び掛け人で市民団体「アジア子どもの夢」代表の川淵映子さんが「安倍首相は戦争が出来る国にしようとしている。『ダメなものはダメ』と声を上げていく必要がある。」「富山大空襲を語り継ぐ会」の田中梯夫・代表幹事は「しよっちゅう戦争をしている米国の付き合う必要はない。容認は絶対に反対だ」と訴

えた。デモに参加した富山市の女性(39)は「安倍政権を見ていると、このままでは戦争をする国になってしまうと危機感を感じている。反対の声をもっと上げていく必要がある」と話した。

6/20 北電
富山
集団的自衛権の閣議決定阻止へ400人デモ

あり、約400人が参加し、デモ行進した。

県平和運動センター（山崎彰議長）などが開いた。呼び掛け人の「アジア子どもの夢」の川淵映子代表、医師で富山大空襲を語り継ぐ会の田中梯夫代表幹事があいさつ。県教職員組合の佐幸明委員長と安保廃棄物実行委員会の広瀬妙子代表委員、中村博明同センター副議長が結束を呼び掛けた。集会後、参加者は「戦争のために憲法を壊すな」などシュプレヒコールを上げながら行進した。